

書籍のご案内

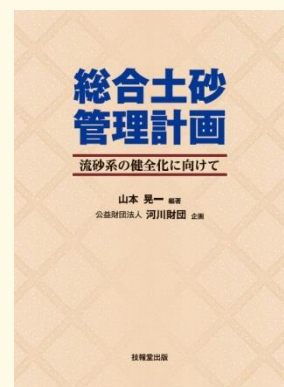
総合土砂管理計画

～流砂系の健全化に向けて～

公益財団法人河川財団河川総合研究所所長山本晃一編著／公益財団法人河川財団企画

A5判／総400頁／ISBN 978-4-7655-1816-1

定価 4,752円(税8%・送料込み)



発行:2014年9月18日

【「はじめに」から】

総合土砂管理という概念が社会化されたのは、平成10(1998)年の河川審議会の答申「流砂系の総合的な土砂管理に向けて」であった。その後、建設省河川局が主導し砂防・河川・海岸部門での調査研究がなされ、流砂系に関わる公的管理部門に携わる技術者間での認知度が上がったとはいえるが、いまだ流砂系での粒径集団ごとの土砂動態や土砂の分級機構についての理解が進んでおらず、土砂動態に影響を与える、逆に土砂動態の影響を受ける流砂系に携わる各事業者では、土砂動態に関する基本的知見・理論の共通化がなされておらず、総合土砂管理の実態化は遅れている。ましてや、総合土砂管理の概念・理念について、世間に認知されているとはとても言えない。一方、近い将来、気候変動に伴う海水面の上昇、洪水規模の増大が予測され、流砂系の変化、海岸侵食の激化が懸念されている。流砂系に関する理論とその認知、対応方策の提示が強く求められよう。(中略)

そもそも、総合土砂管理の計画理念・概念は、社会的共通規範として自明な存在であるものなのか。技術論として書き上げるものなのか。法理論、空間の統治論、空間の価値論、利害の調整論が先ではないのか。(中略)分科したディシプリン集団の協働作業が必要である。

(目次は裏面にあります)

—お申込書—

- 全国の書店にてご注文(予約)頂けます。●下記に必要事項をご記入の上お近くの書店でお申込みください。
- お近くに書店がない場合、弊社からの直送もお申込み頂けます。■直送をご希望の場合、下記に必要事項をご記入の上、弊社営業部までFAX(03-5217-0886)、または郵送にてお申込みください。■送料は無料です。■請求書は別途ご郵送となる場合もございます。

◆ 総合土砂管理計画 —流砂系の健全化に向けて— A5判・総400頁／ISBN 978-4-7655-1816-1 → 定価 4,752円 (税8%・送料込み) 冊
◇ 沖積河川 —構造と動態— A5判・600頁／ISBN 978-4-7655-1758-4 → 定価 6,912円 (税8%・送料込み) 冊
◇ 流木と災害 —発生から処理まで— A5判・280頁／ISBN 978-4-7655-1759-1 → 定価 4,752円 (税8%・送料込み) 冊
◇ 河川汽水域 —その環境特性と生態系の保全・再生— A5判・366頁／ISBN 978-4-7655-3429-1 → 定価 4,968円 (税8%・送料込み) 冊

※個人様名義でご注文頂いた場合、代引きのみでの出荷となります(代引き手数料200円が書籍代とは別に掛かります)。

(ふりがな)

【法人名】

【部署名】

【お名前】

【郵便番号・ご住所】 〒

【お電話番号】

番線印(書店記入欄)

技報堂出版

【目次】

第1章 序論

- 1.1 本書の目的と内容
- 1.2 記述の範囲

第2章 総合土砂管理の思想史

- 2.1 古代からの近世初期までの総合土砂管理思想
- 2.2 幕藩体制下
- 2.3 明治から昭和30年まで
- 2.4 高度経済成長期
- 2.5 安定成長期から平成時代の動き

第3章 土砂動態に関する基礎的知見と概念

- 3.1 岩石の風化と粒径集団の形成
岩石の風化／年平均生産土砂量と質／土砂・岩塊の流動形態と流動機構／溪床・河床堆積物の粒度分布と粒径集団
- 3.2 空間的分節化と土砂の動態
大セグメントと小セグメント／山地部における空間的分節化と土砂の分級／沖積地における空間的分節化と土砂の分級／河口部の地形と土砂の分級／沿岸域の地形と空間的分節化／沖積河川形成過程における海浜の役割
- 3.3 土砂動態と生物の相互作用
土砂の移動に及ぼす生物の影響／河川・海岸地形と植生の相互作用／土砂動態変化と生態系の応答

第4章 山間部の土砂動態の評価

- 4.1 山間部における土砂生産量、通過土砂量の評価
取り込むべき土砂生産形態と人為行為／時空スケールと主要通過土砂量評価地点／生産土砂量、流出土砂量の評価／溪流の地形変化の実態／土砂供給量の評価手法／総合土砂管理計画と砂防基本計画／砂防・治山事業による環境の質の変化と対応
- 4.2 貯水ダムによる土砂動態の変化とその影響
土砂の移動形態と堆積形態／粒径集団別土砂量の評価／堆積形状および直上流の河床変化量の評価／土砂、水量、水質の変化と下流河川への影響／土砂排砂技術

第5章 沖積河道部の土砂動態の評価

- 5.1 山間部から沖積地への供給土砂量の評価
年平均供給土砂量の評価／大洪水時に山地から沖積河道に流出する土砂量の評価
- 5.2 河道変形の人為的改変、供給土砂および洪水流量の改変と河道の応答
河道への人為的インパクト要因／人為的インパクトによる河道の応答
- 5.3 大洪水による河川地形の変化
- 5.4 河道地形変化の評価法
河道特性調査、河川環境特性調査と河道特性量、景観変化を評価する方法／移動床水理模型実験による評価法／数値シミュレーションによる評価法
- 5.5 沖積河川における土砂動態制御工法とその効果

第6章 海岸部の土砂動態の評価

- 6.1 漂砂系の設定と空間区分
海浜における漂砂系の設定／粒径集団別土砂収支把握の必要性
- 6.2 海浜地形変化に及ぼす人為作用と海浜の応答
供給土砂量に及ぼす人為作用と海浜の応答／人為作用と海浜の応答
- 6.3 河川からの供給土砂量および通過漂砂量の評価
セグメントにおける粒径集団別流砂量の評価による河口流出土砂量の評価／限界水深以浅の地形変化量による通過漂砂量、河川供給土砂量の評価／汀線変化数値シミュレーションによる評価
- 6.4 漂砂量および汀線変化の評価法
海浜および河口特性情報と汀線変化を評価する方法／移動床模型実験による評価法／数値シミュレーションによる評価法

第7章 総合土砂管理計画の基本構想

- 7.1 総合土砂管理計画の実体化の困難性
- 7.2 流砂系としての総合土砂管理計画の基本
計画水準／基本的枠組み／考慮すべき人為的インパクトと土砂制御手段／土砂問題の課題と問題点の抽出／基本的原則
- 7.3 分節化された空間の管理主体と総合土砂管理
- 7.4 総合土砂管理のためのPDCAサイクルシステムの構築

第8章 総合土砂管理計画策定フローと方法

- 8.1 総合土砂管理計画策定フロー
- 8.2 総合土砂管理計画の必要性和基本方針
必要性／基本方針／制度設計
- 8.3 流域特性の把握
情報の収集と縮約化／計画策定のための一次情報、二次情報の収集と整理
- 8.4 土砂動態に及ぼしたインパクトとそのレスポンス
インパクトと表現様式／インパクト・レスポンス構造関連の把握と分析
- 8.5 土砂動態の評価と土砂動態マップの作成
- 8.6 流域土砂動態の課題と対策メニュー抽出・確定
- 8.7 土砂環境モニタリングとフォローアップ計画
- 8.8 総合土砂管理計画の評価
- 8.9 総合土砂管理計画の構成と内容

第9章 今後の課題

- 9.1 土砂動態に関する情報の生産と観測体制
- 9.2 土砂動態に関する調査研究課題
- 9.3 総合土砂管理の方向
- 9.4 総合土砂管理に関係する空間管理者の管理目的・機能の調整と管理組織

あとがき

項目索引

河川名・地名等索引